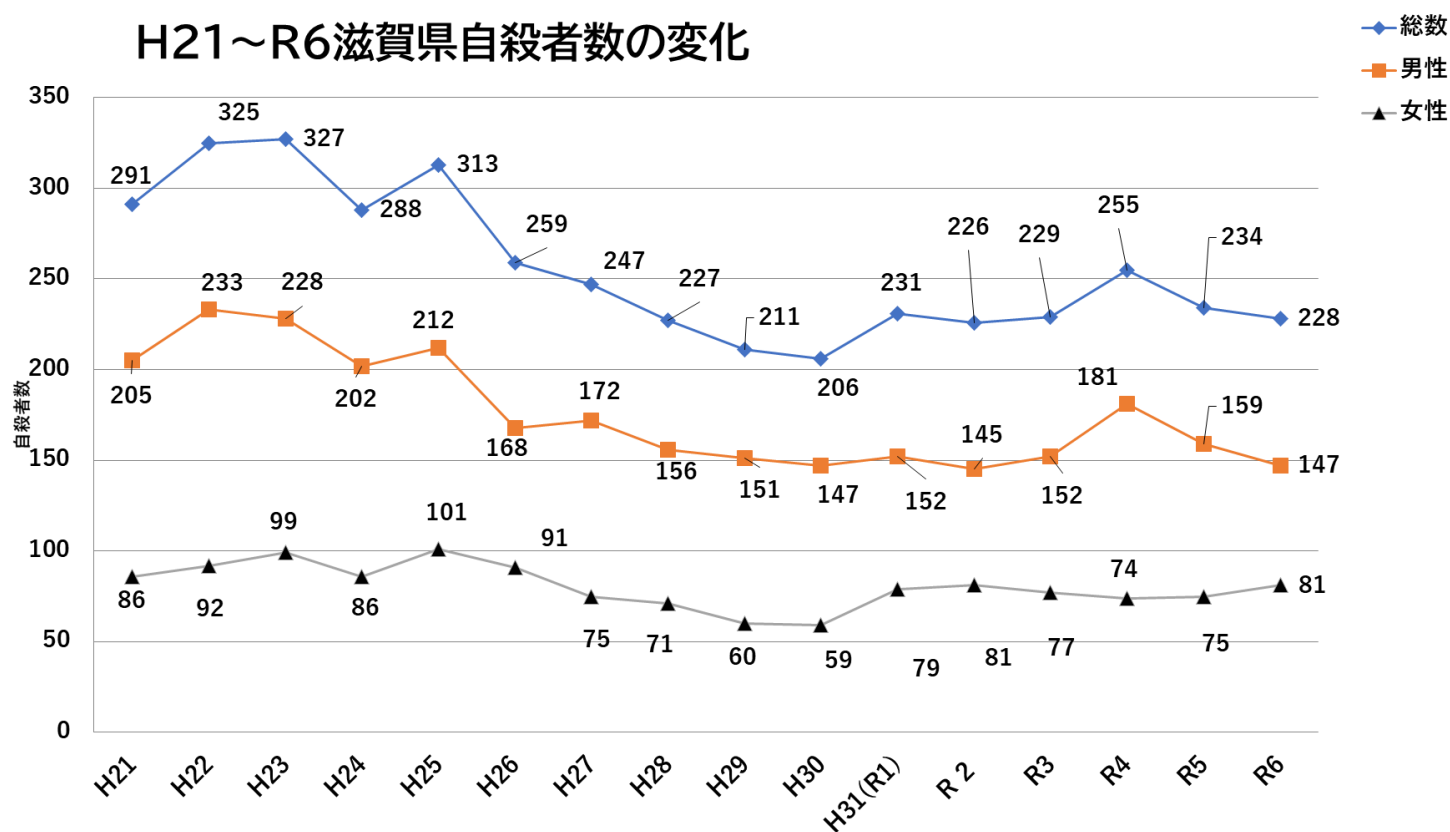


■ 滋賀県の自殺者について

滋賀県の自殺者は平成 25 年からは緩やかな減少傾向を維持し、コロナ禍では増加傾向に転じましたが、令和 4 年以降は再び減少傾向となり、令和 6 年は 228 名となりました。

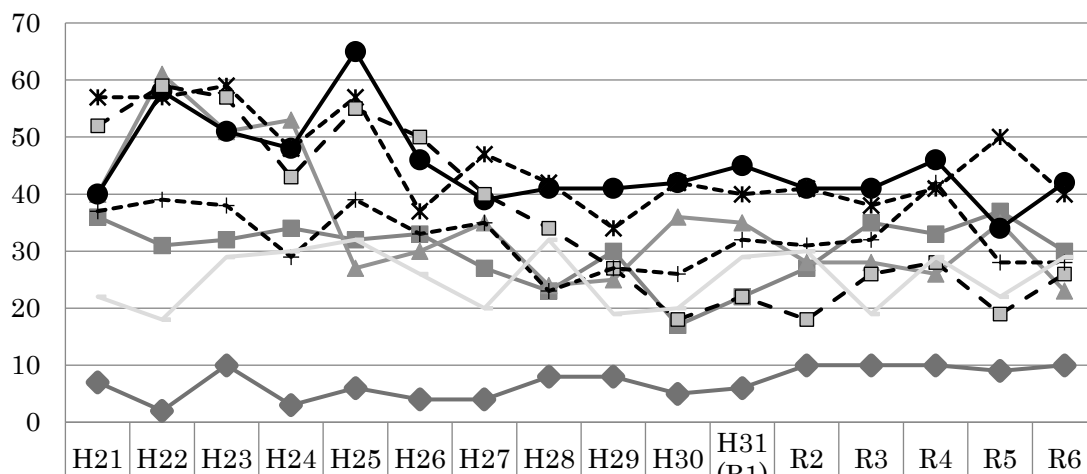
H21～R6滋賀県自殺者数の変化



地域における自殺の基礎資料より精神保健福祉センターが作成

(ウ)

年齢階級別自殺者数の年次推移



地域における自殺の基礎資料より精神保健福祉センターが作成

■ 令和 6 年死因順位別にみた年齢階級別死因割合

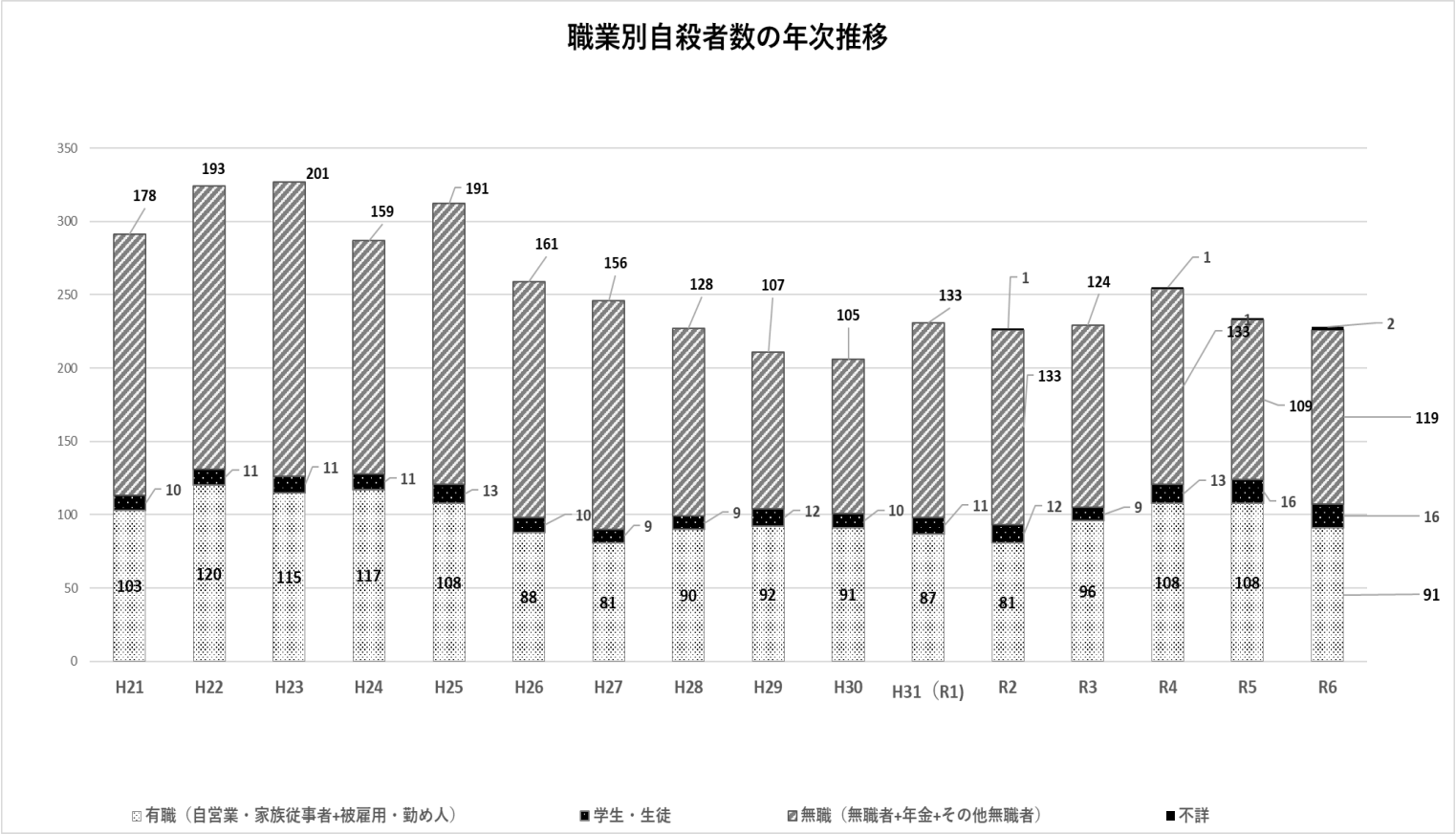
10 歳～14 歳および 20 歳～39 歳までの死因の 1 位は自殺であり、40～54 歳は第 2 位が自殺です。

年齢階級	順位	死因	率	順位	死因	率	順位	死因	率
10～14歳	1位	自殺	60.0%	2位	悪性新生物	40.0%	その他の死因は一人ずつのため不記載		
15～19歳	1位	不慮の事故	33.3%	2位	自殺	28.6%			
20～24歳	1位	自殺	71.4%	2位	不慮の事故	7.1%			
25～29歳	1位	自殺	54.5%	2位	悪性新生物	9.1%	2位	脳血管疾患	9.1%
30～34歳	1位	自殺	55.2%	2位	悪性新生物	27.6%	3位	不慮の事故	6.9%
35～39歳	1位	自殺	20.6%	1位	悪性新生物	20.6%	1位	不慮の事故	20.6%
40～44歳	1位	悪性新生物	27.9%	2位	自殺	26.2%	3位	脳血管疾患	9.8%
45～49歳	1位	悪性新生物	27.7%	2位	自殺	18.5%	3位	心疾患(高血圧性を除く)	11.5%
50～54歳	1位	悪性新生物	39.7%	2位	自殺	12.1%	3位	心疾患(高血圧性を除く)	10.6%
55～59歳	1位	悪性新生物	41.8%	2位	心疾患(高血圧性を除く)	15.3%	3位	脳血管疾患	7.6%
60～64歳	1位	悪性新生物	45.5%	2位	心疾患(高血圧性を除く)	14.1%	3位	脳血管疾患	6.9%

※死因順位は死亡数の多いものからとなっているが、同数の場合は、自殺を優先して記載しています。

職業別自殺者数

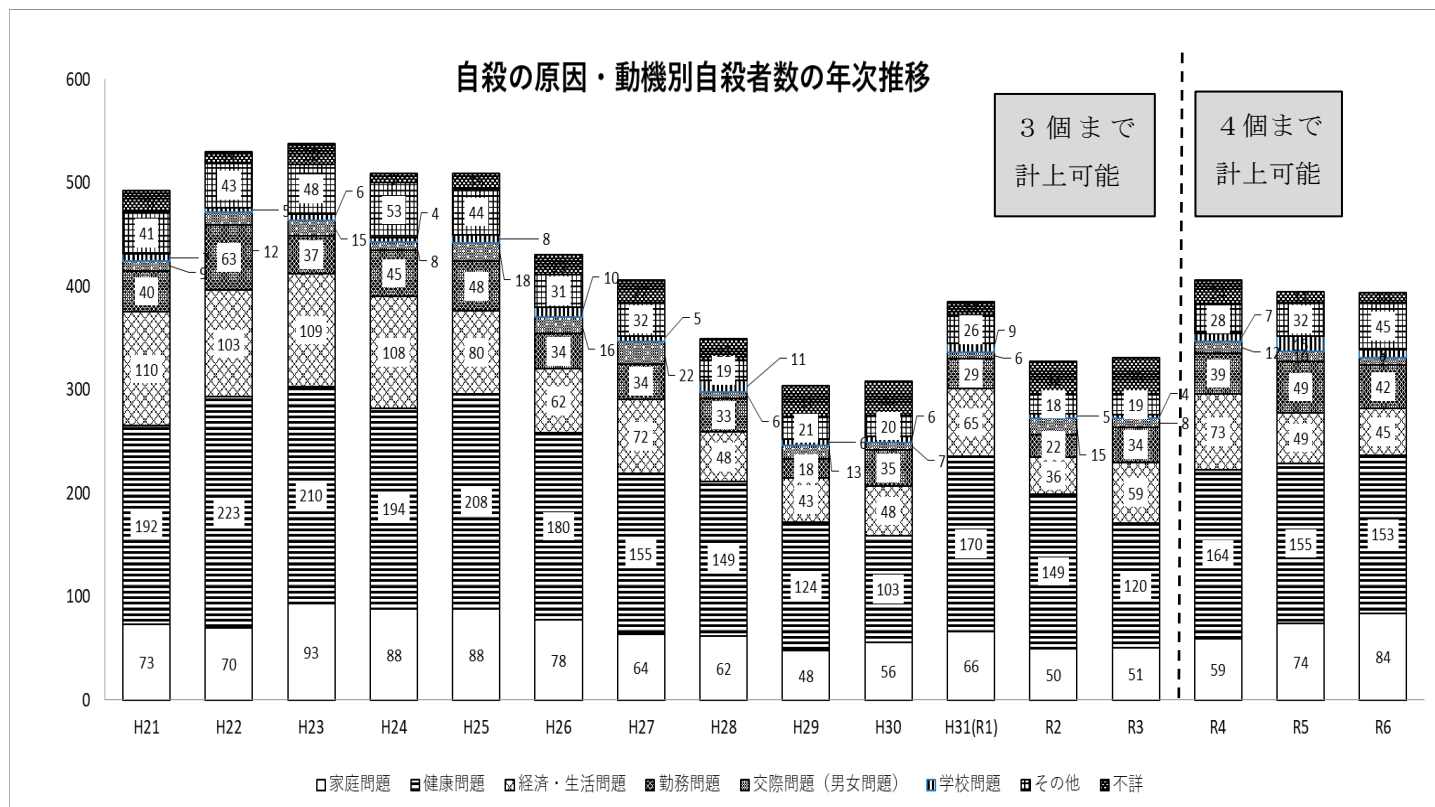
職業別の自殺者をみると、令和6年は有職者91人に比べ無職者が119人、経年の変化をみても、有職者に比べて無職者の自殺者が多い傾向となっています。また学生・生徒の自殺者数は横ばい傾向となっています。



地域における自殺の基礎資料より精神保健福祉センターが作成

■ 原因・動機別自殺者数の年次推移

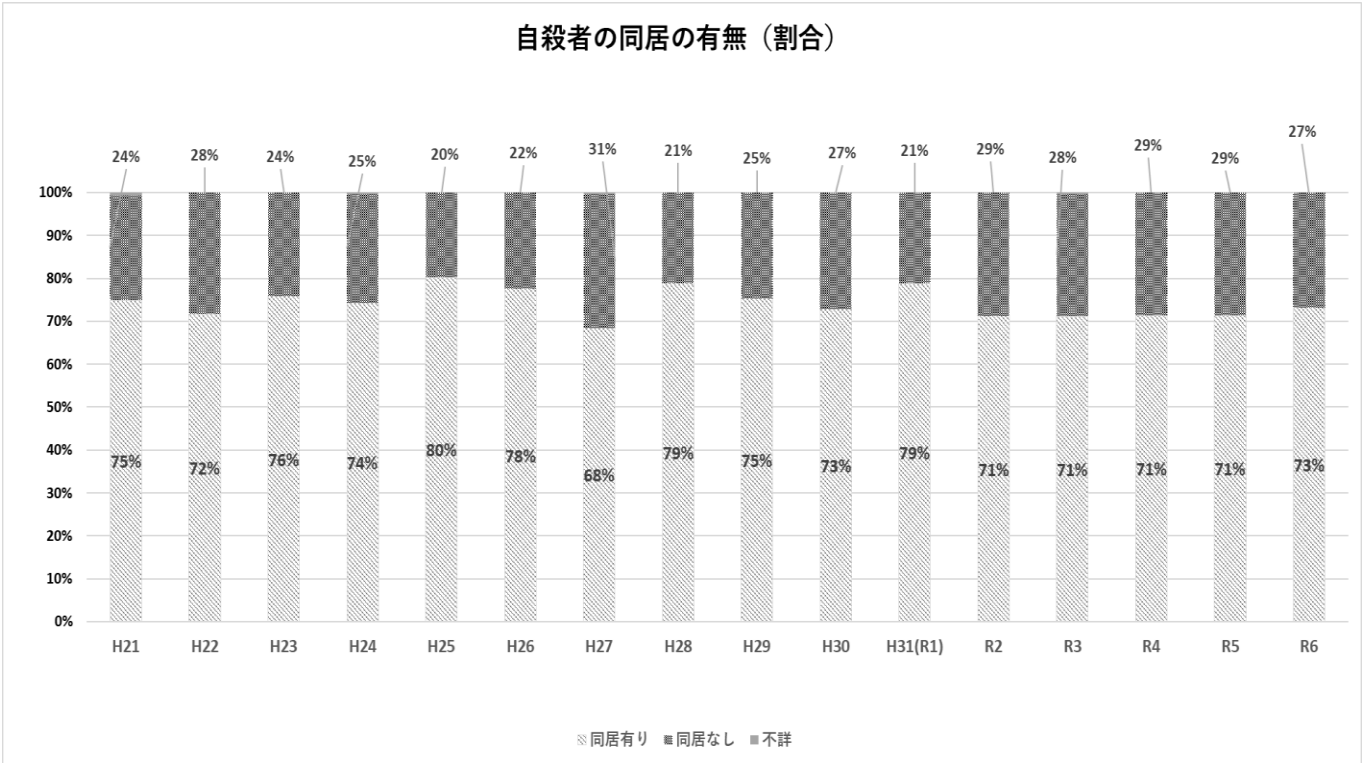
原因・動機別の自殺者数については、令和4年より原因・動機を最大4つまで（令和3年までは3つまで）計上しています。原因・動機別でみると、多い順に健康問題、家庭問題、経済・生活問題、その他となっています。



地域における自殺の基礎資料より精神保健福祉センターが作成

■ 自殺者の同居の有無

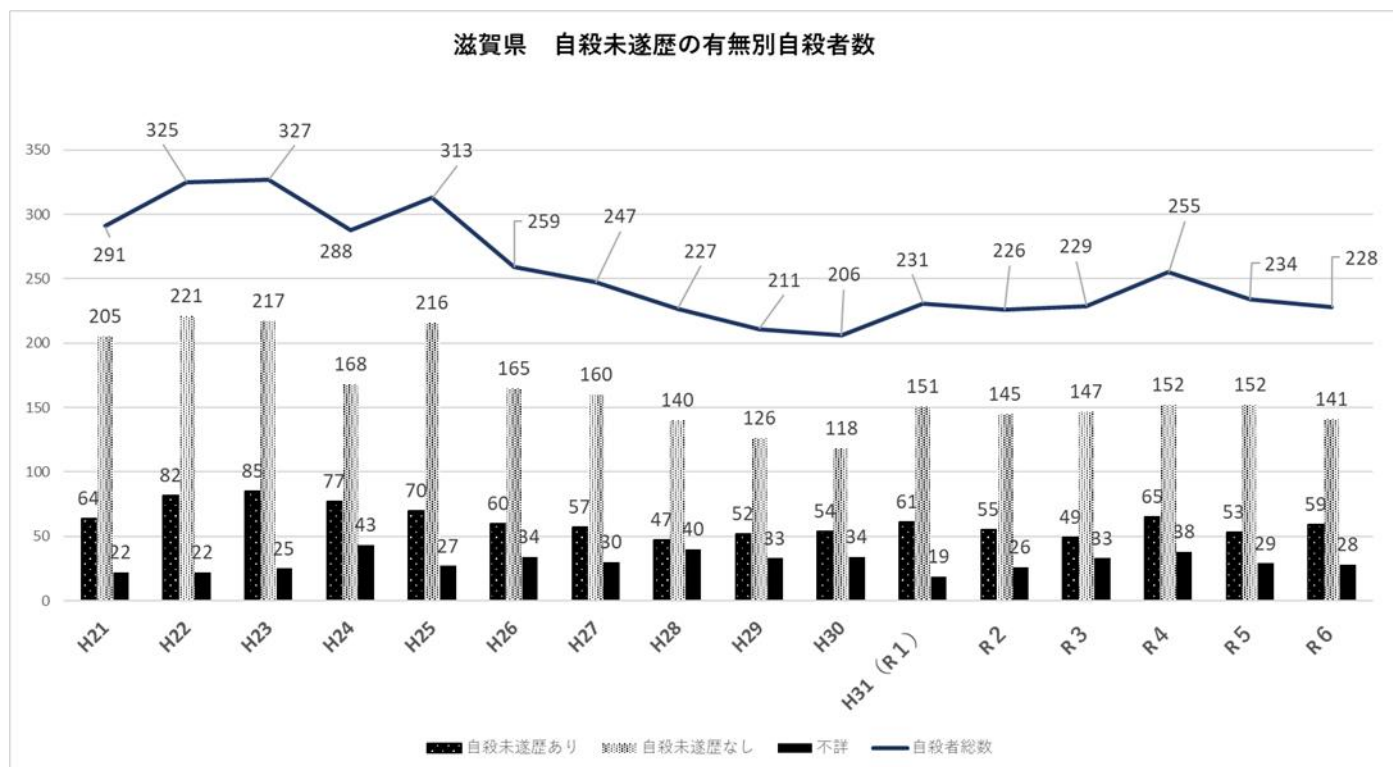
自殺者における同居の有無の割合をみると、同居有りが 70%を占めています。



地域における自殺の基礎資料より精神保健福祉センターが作成

■ 自殺未遂歴の有無

自殺者数における自殺未遂歴ありの人は、平成 23 年のピーク時より減少していましたが、近年横ばいで推移しています。



地域における自殺の基礎資料より精神保健福祉センターが作成